

# 岐阜県林政部研究推進方針

平成26年4月策定

林政部

## 1 策定の趣旨

県では、平成18年に「揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり」を基本理念とした「岐阜県森林づくり基本条例」を制定した。この条例に基づき、「岐阜県森林づくり基本計画」（以下、「基本計画」という。）を策定し、森林づくりの具体的な施策と、それに基づいた取り組みを総合的かつ計画的に推進してきた。

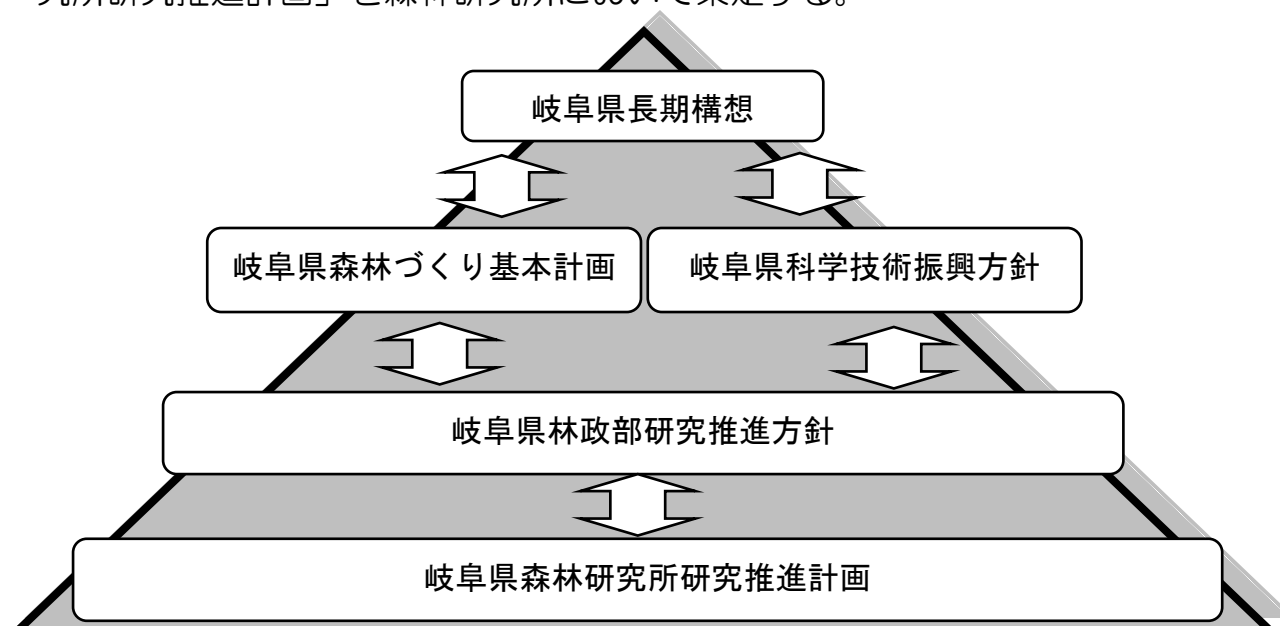
一方で、平成24年度に県の科学技術振興の基本的な方向と具体的な施策を進めるための方針として、「岐阜県科学技術振興方針」（以下、「振興方針」という。）を策定し、各分野での研究開発を推進してきたところだが、平成26年度の方針改定に伴い、試験研究機関所管各部署は、個別に研究推進方針を定めることとなった。

このため、林政部では、振興方針における基本方向等を踏まえながら、基本計画に沿って、「岐阜県林政部研究推進方針」（以下、「推進方針」という。）を定めることとする。

## 2 各種計画との関係

推進方針は、県の最上位計画である「岐阜県長期構想」や振興方針と整合を図りながら、基本計画で定めた各種施策の実現を、研究開発の面から推進するための方針とする。

また、推進方針に基づき具体的に取り組む研究内容等を定めた「岐阜県森林研究所研究推進計画」を森林研究所において策定する。



### 3 基本目標

#### 県民生活の向上に貢献する科学技術の振興

※技術振興方針で定めた基本目標

林業の低コスト化や、県産材の品質向上による需要拡大、森林資源の有効活用の促進に関する技術開発・普及を図り、自立的な林業経営を目指す。

また、水源林の保全や災害に強い森林づくりなど、安全で安心な県民生活に関する試験研究についても取組みを進めていく。

### 4 推進方針

基本計画で定めた3つの方針、及び振興方針で定めた3つの基本方向に基づき、以下のとおり研究開発を推進する。

#### (1) 健全で豊かな森林づくりの推進（地域づくり）

県民の豊かな生活環境とくらしを守るため、間伐手法や治山技術の開発、森林病虫害や獣害等の森林被害対策に取組み、健全な森林の保全・育成に努める。

##### ○人工林の多様な森林への誘導技術の研究・開発

- ・低コスト造林技術の開発
- ・林分収穫表・密度管理図の作成
- ・広葉樹林への誘導技術の検討
- ・シイタケ原木林造成技術の開発

##### ○公益的機能を高める森林管理技術の開発

- ・水土保全機能を高める森林制御手法の開発
- ・目標林型に対応した施業技術の開発

##### ○病虫害・獣害の低コストな対策技術の開発

- ・ニホンシカによる食害対策技術の開発
- ・ナラ枯れ防除技術の開発
- ・ヒノキ心腐病の診断技術の開発

##### ○環境に配慮した森林土木技術の開発

- ・土と木のハイブリッド治山構造物の開発
- ・丈夫で簡易な作業道作設技術の開発

## (2) 林業及び木材産業の振興（モノづくり）

効率的な森林施業体制の確立、木材製品の品質向上、未利用材の有効利用等に関する試験研究を行い、活力ある林業・木材産業の経営に向けた支援を行う。

- 高品質な県産材の生産技術の開発
  - ・スギ材乾燥の効率化
  - ・高品質な県産材生産技術の開発
  
- 環境に配慮した低コストな森林作業システムの開発
  - ・急傾斜地における架線集材技術指針の作成
  - ・新たな森林作業システムの開発
  - ・木質バイオマスの収集運搬技術の開発
  
- 高品質なキノコ等の生産技術の開発
  - ・高品質な菌床シイタケの生産技術の開発
  - ・高品質なキノコ類生産技術の開発
  
- 伝統工芸の発展に資する研究
  - ・伝統的工芸品の原材料を効率的に生産する技術の開発

## (3) 人づくり仕組みづくりの推進（人づくり）

試験研究の成果は、林業普及指導員による巡視指導、森林文化アカデミーにおける技術研修や生涯学習講座、学会での発表等様々な媒体を通じて情報発信し、民間への技術移転を図る。

- 技術者及び担い手の育成・確保
  - ・高性能林業機械オペレータ養成研修、労働力確保支援センターの各種研修支援等による技術者の育成
  - ・森林文化アカデミーの短期技術研修や生涯学習講座と連携した、研究成果の技術移転を通じた技術者の育成
  - ・インターンシップを通じた学生への指導・育成
  
- 地域が主体となった森林づくりの支援
  - ・地域の森林づくりを進める市町村管理委員会への支援
  
- 技術指導・支援の強化
  - ・最新の研究や技術情報の収集および林業普及指導員や林業関係者に対す

る伝達・普及活動

- ・ 林業普及指導員の資質向上のため各種研修の実施
- ・ 企業等が必要とする技術開発の聞き取り調査と現場・県民ニーズを把握
- ・ ホームページを活用した最新情報の発信
- ・ 要望のある特許の権利維持と実施許諾

## 6 研究課題の設定

課題設定にあたっては、長期的な視野のもと、林政部各課、各農林事務所と意見交換を行うなど十分に連携を図り、現場・県民の研究ニーズの把握に努める。

実施する研究課題はその重要性、緊急性により、「プロジェクト課題」「重点研究課題」「地域密着課題」に分類する。

森林研究所単独では対応困難な課題で、大学や国の独立行政法人、民間企業等と連携して取り組むべき研究課題は、外部資金を活用した共同研究で実施する。

## 7 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムとの連携

森林研究所は、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（平成26年度設立予定）と連携し、森林・林業・木材産業における研究開発・技術支援、人材育成、研究交流を推進する。

## 8 推進期間

推進期間は振興方針に合わせ、平成26年度から平成28年度とする。

## 9 研究開発の体制

